

総務常任委員会懇談会報告書

1 開催日時

令和8年4月16日（木） 午後1時

2 会場

八千代市役所 別館2階 第1・2会議室

3 テーマ

八千代市防犯組合連合会の活動等について

4 出席者

(1) 八千代市防犯組合連合会

会長1名、顧問1名、副会長4名、事務局長1名

(2) 八千代市議会総務常任委員会

委員長	立川清英	副委員長	山口勇
委員	飯川英樹	委員	石山泰之
委員	塚本路明	委員	林隆文
委員	若松博		

5 開催趣旨

八千代市防犯組合連合会は、犯罪のない明るい社会の実現を目的に、青色防犯パトロールカーによる巡回や地域における徒歩でのパトロール、特殊詐欺防止啓発活動等を行っている。

そこで本委員会は、八千代市防犯組合連合会の活動、また、その活動の中で生じている課題等について情報を共有し、委員会及び委員の専門性の向上を図り、政策提言及び委員会活動の参考とすべく、懇談会を開催した。



6 懇談会概要

立川委員長が司会を務め、会の冒頭、各出席者の自己紹介を行った後、八千代市防犯組合連合会会長及び各地区の代表者から同団体の活動内容、現状及び課題等についての説明がなされ、その後、フリートーク形式での意見交換を行った。

懇談内容としては、防犯指導員の高齢化、75歳の定年制度、自治会の加入者の減少等による人員不足の課題、また、防犯活動の具体的な内容及び課題等について、約1時間にわたり活発に意見の交換が行われた。

その中で、防犯標語「いかのおすし」の啓発用シールを作成したが、予算不足の関係で、全ての学校に配付ができていないため、市で予算の確保をしていただきたいとの意見があった。

また、駅前に送迎用スペースがないため事故のおそれがあり、タクシー台数が減少していることから、タクシープールを送迎用スペースとして活用し、駅前の利便性を向上させるなどの事故を未然に防ぐための安心・安全な取組が求められているとの意見や、行政と市民の協働が防犯活動の継続において重要であり、行政は市民のやる気や使命感を理解し、参加を促す役割を果たすべきである等の意見があった。

7 懇談会を終えて

今回の懇談会では、八千代市防犯組合連合会の方々がやっている防犯活動の様々な取組や課題などについて、貴重な意見を直接聞くことができ、大変有意義なものとなった。本委員会は、頂いた意見等を参考とし、今後の政策提言や施策に生かしてまいりたい。